

高松第一高等学校 未来への学び 評価ルーブリック（理系・数学課題研究用）

		不十分(1)	もう少し(2)	ほぼ十分(3)	十分(4)
①実践	研究の設定	研究・取り組みの方法や手順が まとまっておらず、 全体像が全く示されていない。	研究・取り組みの方法や手順は 示されているが、 不十分な点がいくつか見られ、 全体像が漠然としている。	研究・取り組みの方法や手順が 適切に述べられおり、 全体像がはっきり示されている。	研究・取り組みの方法や手順が 適切に述べられおり、 全体像がはっきり示されている。 さらに、より深い研究を行うための 方針がみられる。
	研究内容の信頼性	考え方の根拠に関する記述（データの取り扱い・証明）が示されていない。	考え方の根拠に関する記述（データの取り扱い・証明）が示されているが、不十分な点が見られる。	考え方の根拠に関する記述（データの取り扱い・証明）が正確に示されている。	考え方の根拠に関する記述（データの取り扱い・証明）が正確に示されている。さらに、より合理的に説明するための分析方法や説明方法などに工夫点もみられる。
②研究の分析・表現	表現方法	研究結果・過程を図表・グラフなどで表わしていない。	研究結果・過程を図表・グラフなどで表しているが、不十分である。	研究結果・過程を図表・グラフなどで明瞭に表現している。	研究結果・過程を図表・グラフなどで明瞭に表現している。 また工夫点も見られる。
	分析と考察	結果・過程の理解が見られない。	結果・過程の理解がなされているが、不十分である。	結果・過程の理解が十分になされている。	結果・過程の理解が十分になされており、発展性も見られる。
③発表コミュニケーション力		説明がわからない。 もしくは、発表が聞き取れない。	説明が不十分である。 もしくは、発表が聞き取りにくい。	説明が適切で、 発表が聞き取りやすい。	説明が適切で、発表がわかりやすく、 質疑に対する対応も適切である。

従来の評価ポイント

- 課題把握力 研究目的が明確に示されており、研究のバックグラウンドとなる知識や法則、公式を理解している
- 発想力・・・課題解決に向けての着眼点がよく、創意・工夫がなされている
- 科学的探究:実験や証明などの手順が適切に示されている(変数の制御、必要なデータ数、再現性の担保、論理的な構成)
- 分析力・・・適切なデータ処理や証明と分析・考察がなされている
- 表現力・・・プレゼンの完成度（生データの羅列ではなく表・グラフ化されている、分かりやすい）、発表コミュニケーション力